

岩手県奥州市文化財調査報告書 第一集

歴史的建造物調査報告その一

旧高野家住宅（高野長英旧宅・古稀庵・新座敷ほか）

奥州市教育委員会

序文

奥州市では、市内に現存する多彩な古文書や美術工芸、民俗、建造物の文化財調査を継続して実施しており、調査でその価値が明らかになったものについては、文化財指定並びに登録を進め、その保存活用に努めています。市内の歴史的建造物については、東北工業大学建築学部のお力添えを得て実施した歴史的建造物調査により国立天文台水沢キャンパスに所在する歴史的建造物群のほか、後藤伯記念公民館、齋藤子爵水沢文庫（通称・齋藤實旧宅）、旧安倍家住宅が、現在では国登録有形文化財として保護されています。

本書は、国史跡として長く保存されてきた高野長英旧宅のほか、古稀庵・新座敷といった未指定であった近代の建造物を含めた旧高野家住宅について、その文化財的価値を総合的に調査した成果報告書です。調査の結果、史跡としての価値にとどまらず、旧高野家住宅が近世・近代にまたがる優れた意匠を有する歴史的建造物として、また高野長英顕彰活動を推進した高野家三代の軌跡を物語る住宅として、極めて高い文化的価値を有することが明らかとなりました。

奥州市が継続している文化財調査は、郷土の歴史・文化を学術的に調査するのみならず、記録を公開することが前提となります。そしてその価値や魅力を広く市民や関係する方々と共有することが、今後の文化財行政として重要であります。

今回は、「岩手県奥州市文化財調査報告書第一集」として旧高野家住宅の歴史的建造物調査報告書を発行します。この報告書を契機として、市民の皆様が郷土の歴史・文化の価値を改めて見つめなおし、貴重な文化財の保存・活用の輪が広がることを期待しております。

令和五年三月

奥州市教育委員会 教育長 高橋 勝

例言

- 一、本書は、令和元年度（二〇一九）から三年度（二〇二一）に実施した旧高野家住宅（高野長英旧宅・古稀庵・新座敷ほか）の歴史的建造物調査報告である。
- 二、調査は奥州市教育委員会事務局歴史遺産課（担当…川田啓介・二〇一九年度、高橋千晶・二〇二〇～二〇二一年度）による文化財調査事業として東北工業大学建築学部建築学科・建築史研究室（中村琢巳准教授）が実施した。旧高野家住宅に伝存する関係史料調査は、令和三年度に河内聡子（東北工業大学総合教育センター講師）が実施した。
- 三、本書の執筆は以下の分担による。
第1章・第2章・第4章 中村琢巳（東北工業大学建築学部建築学科・准教授）
第3章 河内聡子（東北工業大学総合教育センター・講師）
- 四、建造物の写真撮影および実測図の制作は、東北工業大学建築史研究室によるものである（製図担当…岡田雄貴、大友侑果）。また、本文および巻末資料に掲載した史料翻刻は河内聡子による。

目次

第1章 旧高野家住宅の概要	6	第4章 旧高野家住宅の文化財的価値	37
第2章 歴史的建造物の特徴	8	参考文献	38
1 立地および配置について	8	卷末資料(翻刻文)	39
2 各棟の特徴	8	(1) 「史跡指定申請書(複写)」(高野長英記念館蔵)	
(1) 高野長英旧宅		(2) 「高野長運年譜」(旧高野家住宅蔵)	
(2) 古稀庵		(3) 「高野長閑墓碑面撰文」(旧高野家住宅蔵)	
(3) 新座敷			
(4) 味噌小屋			
(5) 瑞臯文庫			
(6) 板倉			
3 建築家・岡村潤治について	25		
第3章 歴史資料からみた高野家三代と旧高野家住宅	27		
1 高野家所蔵資料について	27		
2 高野家改築の経緯	27		
3 高野家三代	29		
(1) 高野長閑			
(2) 高野長運			
(3) 高野長経			
4 水沢出身者による長英顕彰活動	32		
5 小結	35		